

MY HERO is

おとうさんと おかあさん
≠父 ≠母

お父さんとお母さんは、子供たちにとっていつだってヒーローだ。

たくましく、頼れる背中のお父さん。

優しい笑顔で子供たちを見守るお母さん。

そんな両親に育てられた子供たちは親元を離れ、それぞれの人生を歩んでいく。

子供たちにとってのヒーローの役目を終えた2人は、

次の人生として、学生にとっての「おとうさん」「おかあさん」になる道を選んだ。

子供たちだけのヒーローだった2人は、

やがてアパートの学生や地域の人たちを巻き込んで

みんなのヒーローとなっていく。

そんなヒーローが生まれる過程の物語。

STORY

子供が成長し自分たちの手を離れ、第2の人生を2人で歩もうと決めた

そんな夫婦のためのリノベーション住宅の提案です。

2人だけで悠々自適な生活を送るのではなく

さまざまな年代、種類の人たちと触れ合いながら日々を過ごすことを選んだ2人。

そんな彼らが選んだのは、元々運営していたアパートをリノベーションし、

食事付きの学生アパートを住みながら運営することでした。

親元を離れ、見知らぬ土地で生活を送る学生。

そんな彼らにとって2人は異郷の「おとうさん」「おかあさん」となります。

さらに、2人は学生だけでなく地域の人たちとの触れ合いも望みました。

学生は昼間は学校でアパートにいないため、

その間は地域の人たちが気軽に訪れることのできる場が必要でした。

そんな2人の望む新しいライフスタイルを考えた時、

町の小さな食堂のようなコミュニティが適していると考えました。

映画「かもめ食堂」のように、毎日そこにいることが当たり前のように

さまざまな年代の人たちが訪れるそこは

小さな出来事を通して地域の人たちと学生をつなげるきっかけになります。

2人との絆、地域の人たちとの絆は、

学生たちにとってこの場所を第2の故郷とすることでしよう。

アパートに溢れるきれいな「お花」と

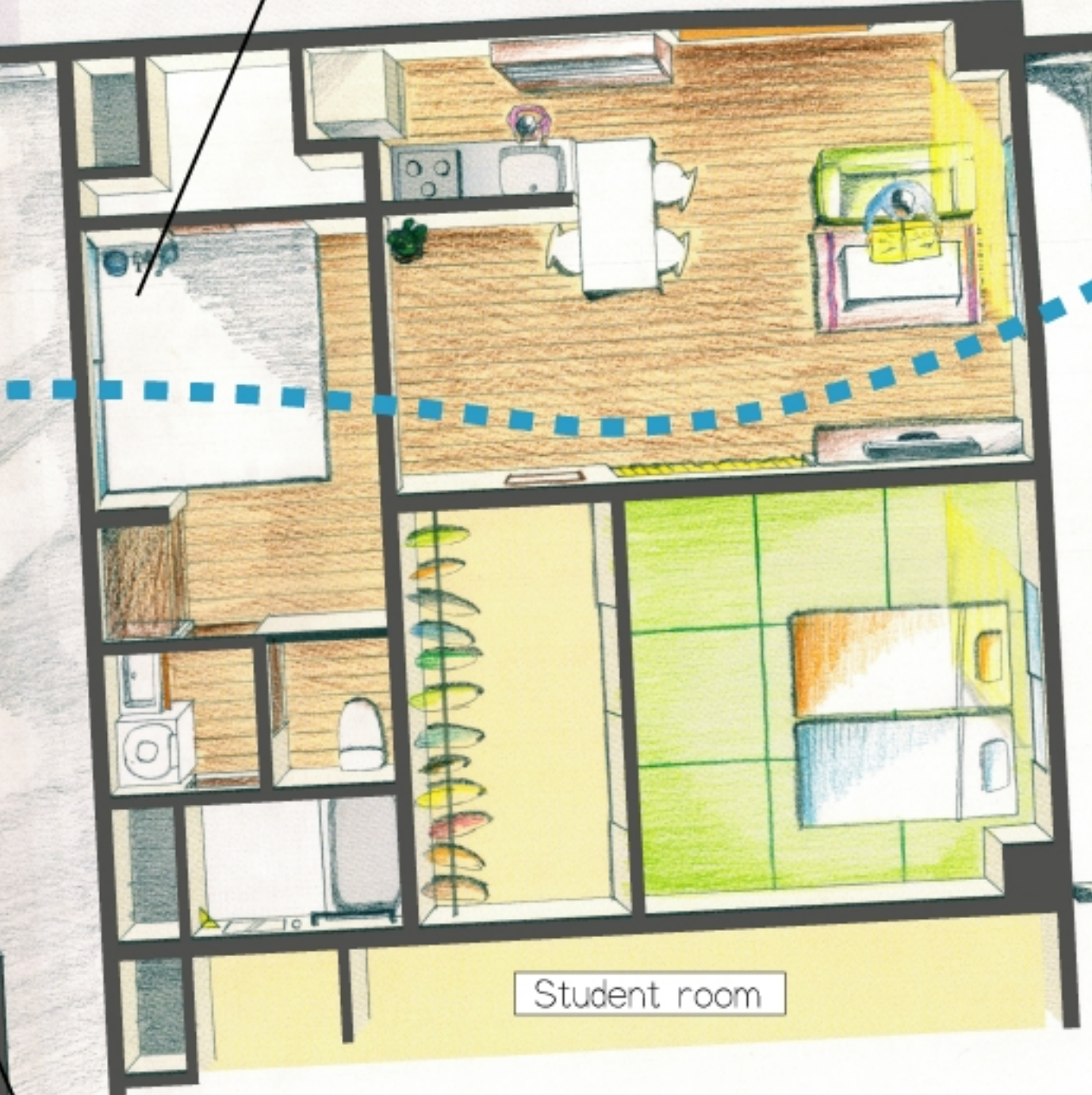
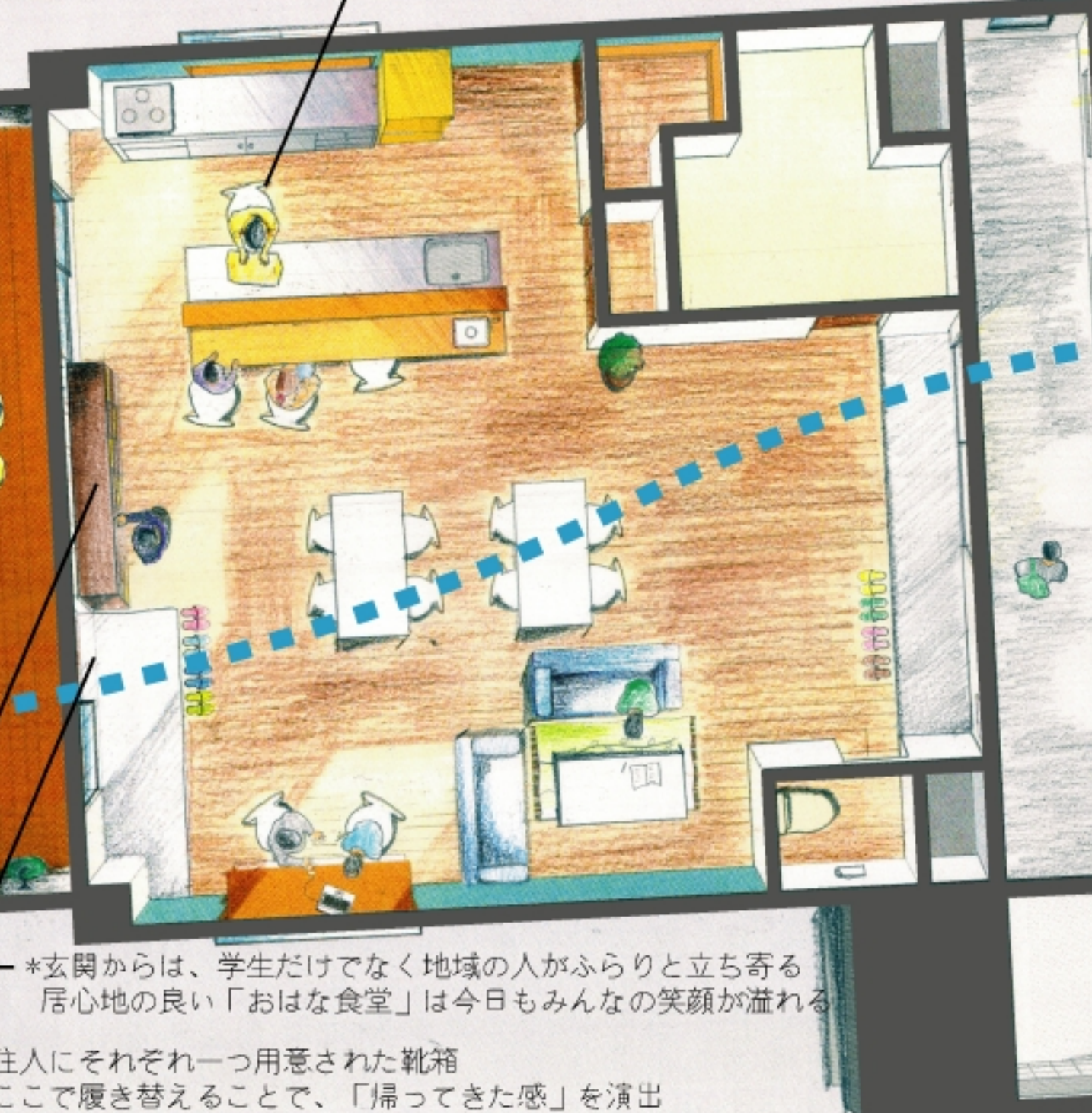
ハワイ語で家族を意味する「オハナ」

2つの想いをこめてこの場所を「おはな食堂」と名付けます。

*シンボルツリーの傍らでは縁側のようなコミュニティが生まれる
ちょっと腰掛け語らう場

*対面式の開放的なキッチンでは「おかあさん」がおしゃべりしながらご飯の支度をする
夕飯時には学生がご飯を受け取る場となる
学生が手伝うなどのコミュニティにも期待する

*大きな土間は中庭と連動して大家さんの生活とつながる
視覚的にも活動としても連動することで
普通はつながりにくい学生と大家さんをより近いものにする



*玄関からは、学生だけでなく地域の人々がふらりと立ち寄る
居心地の良い「おはな食堂」は今日もみんなの笑顔が溢れる

*住人にそれぞれ一つ用意された靴箱
ここで履き替えることで、「帰ってきた感」を演出

*「ただいま」と「おかえり」が生まれるウッドデッキ
学生だけでなく、2人が地域とつながる接点になる
天気の良い日にはBBQなんかも

*囲まれた中庭では様々な植物が育み
吹抜けを介してアパート全体を彩る場となる
庭いじりをきっかけに生まれるコミュニティも

全体平面プラン S=1/100



おはな食堂-内観パース

BEFORE

所在地: 石川県石川郡野々市町 / 築年数: 10年 / 構造形式: 鉄骨造 / 階数: 1階/3階



Out side

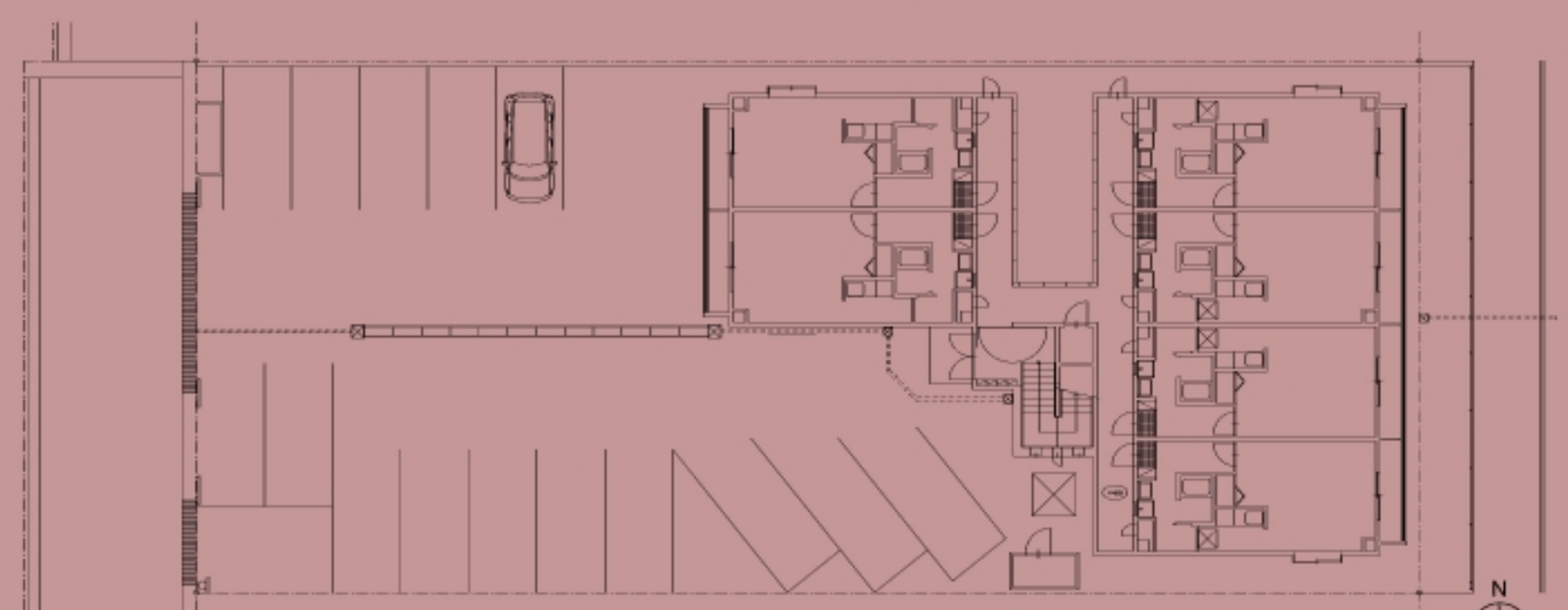


Site



*食堂、中庭、大家さんの部屋が連続することで
GLレベルでつながりが生まれ
中庭を介して、アパート全体がつながる。
大家さんのキャラクターがアパート全体の雰囲気を生み出す

断面ダイアグラム



改修前平面図 S=1:500

おはな食堂
-ohana shokudo-